

Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

2019年7月22日

株主各位

上場会社名 株式会社フルスピード
(コード番号：2159 東証二部)
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
代表者 代表取締役社長 友松 功一
問合せ先 取締役グループ経営 小宮山 雄己
管理本部長
電話番号 03-5728-4460 (代表)
(URL <http://www.fullspeed.co.jp/>)

「第19回定時株主総会招集ご通知」の一部訂正について

2019年7月8日にご通知申し上げました「第19回定時株主総会招集ご通知」の一部に誤りがございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。

記

【訂正箇所】 訂正箇所は__を付して表示しております。

Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

招集ご通知 3 ページ

- I. 企業集団の現況に関する事項
1. 当事業年度の事業の状況
- (1) 事業の経過及び成果

(訂正前)

事業の区分別の営業概況は次の通りです。

<インターネットマーケティング事業>

「コンサルティング力×伴走力×信頼性×独自商材」を軸に中堅企業No. 1のマーケティングパートナーを目指し、サービス拡販に取り組んでまいりました。また、ソーシャルメディアマーケティング*1、リスティング広告*2、コンテンツマーケティング*3、アフィリエイト広告*4などの各種サービスの拡販に取り組む一方で、戦略ドメインとして設定している”ヘルスケア”関連領域や”クロスボーダー”領域での更なる専門性・優位性を持つべく、展開を強化してまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は8,903,873千円（前期比8.2%増）となりました。

<アドテクノロジー事業>

アドテクノロジー事業においては、B to Bマーケティング支援に強みを有するDSP*5「ADMATRIX DSP」を自社ブランドで展開し、外部企業との積極的なアライアンスによるデータ連携等に伴い、競合との差別化を実現し、顧客満足度向上に取り組んでまいりました。また、B to Bマーケティング領域は注目されている市場であり、更なる差別化を実現し、より優位的なポジションを確保すべく推進して参りました。

子会社である株式会社フォーイトにおいては、ASP*6として当社が自社開発したアフィリエイトプラットフォーム『afb』につきまして、プラットフォーム等の市場環境は変化に対応することに一定期間の時間が要したものの、市場において確固たるポジションの獲得に至っております。今後は中長期目線でのアジア展開を加速し、将来的にはASEAN. No. 1のパフォーマンスマーケティング事業になるべく積極的な事業展開を推進致します。

以上の結果、当事業の売上高は13,875,472千円（前期比6.7%増）となりました。

<その他>

その他の区分には、情報メディアサイトの運営、広告ソリューションにおいて付随して発生するWEBサイト、バナー、及びLP制作等が含まれており、売上高は593,864千円（前期比53.4%増）となりました。

Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

(訂正後)

事業の区分別の営業概況は次の通りです。

<インターネットマーケティング事業>

「コンサルティング力×伴走力×信頼性×独自商材」を軸に中堅企業No. 1のマーケティングパートナーを目指し、サービス拡販に取り組んでまいりました。また、ソーシャルメディアマーケティング*1、リスティング広告*2、コンテンツマーケティング*3、アフィリエイト広告*4などの各種サービスの拡販に取り組む一方で、戦略ドメインとして設定している”ヘルスケア”関連領域や”クロスボーダー”領域での更なる専門性・優位性を持つべく、展開を強化してまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は8,949,913千円（前期比8.7%増）となりました。

<アドテクノロジー事業>

アドテクノロジー事業においては、B to Bマーケティング支援に強みを有するDSP*5「ADMATRIX DSP」を自社ブランドで展開し、外部企業との積極的なアライアンスによるデータ連携等に伴い、競合との差別化を実現し、顧客満足度向上に取り組んでまいりました。また、B to Bマーケティング領域は注目されている市場であり、更なる差別化を実現し、より優位的なポジションを確保すべく推進して参りました。

子会社である株式会社フォーイトにおいては、ASP*6として当社が自社開発したアフィリエイトプラットフォーム『afb』につきまして、プラットフォーム等の市場環境は変化に対応することに一定期間の時間が要したものの、市場において確固たるポジションの獲得に至っております。今後は中長期目線でのアジア展開を加速し、将来的にはASEAN. No. 1のパフォーマンスマーケティング事業になるべく積極的な事業展開を推進致します。

以上の結果、当事業の売上高は13,840,102千円（前期比6.4%増）となりました。

<その他>

その他の区分には、情報メディアサイトの運営、広告ソリューションにおいて付随して発生するWEBサイト、バナー、及びLP制作等が含まれており、売上高は670,321千円（前期73.2%増）となりました。

以 上